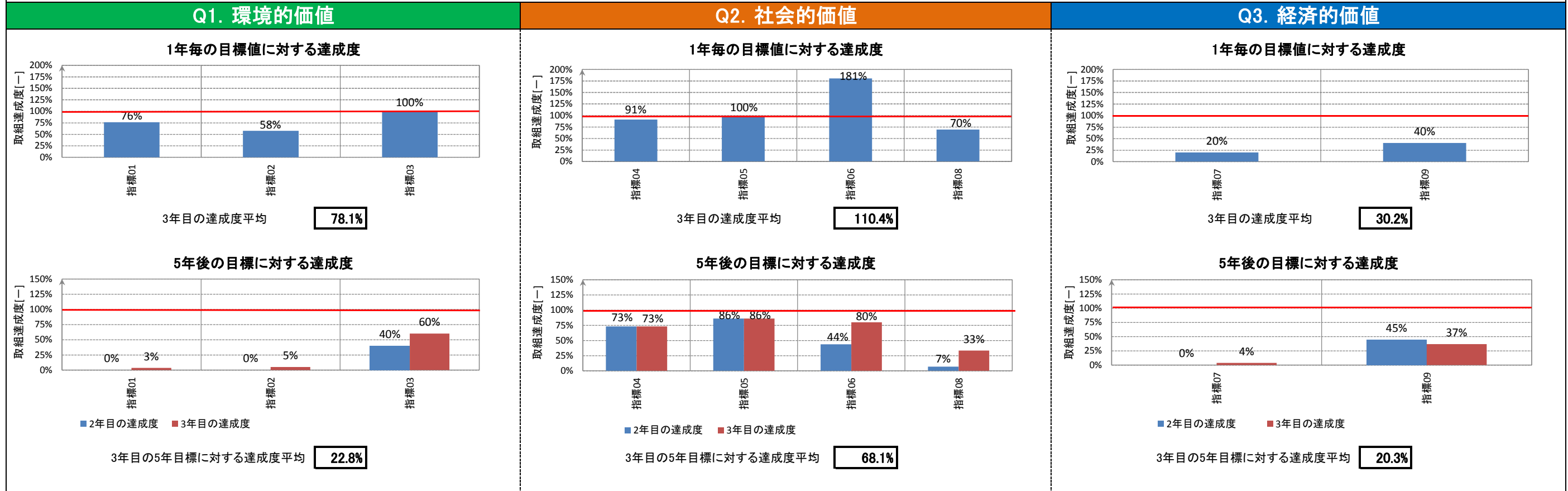


<p>岩手県 釜石市</p>	人口: 36,078人、16,951世帯(平成27年3月末現在) 就業人口: ***人(平成24年3月末現在)、市内GDP: ***兆円(平成23年度) 面積: 101.86km ² (うち森林面積27.66km ²)
----------------	--

取組進捗評価結果(都市による自主評価に基づく達成度)



指標番号	指標名	Q4.特記したい事項(国際展開・都市間連携等)	平成26年度の取組総括
指標01	地域内発電能力(kw)	環境未来都市を牽引する北九州市は、製鉄業によって栄えたという点で当市とルーツを同じくする背景があり、震災直後から復興支援のために多数の職員を当市へ派遣いただいているほか、環境未来都市計画やスマートコミュニティの取り組みについてもアドバイスをいただいている間柄にある。平成26年度には、スマートコミュニティ事業において学校・公共施設へ導入したBEMSを北九州市のCEMSと連携し、電力使用を監視する事業を開始した。今後も現在の関係を深めつつ、情報交換や相互に連携した事業展開を検討したい。 また、平成26年度からは、小学生とその家族を対象とした環境・エネルギー問題への意識向上を目的に横浜市をはじめ全国の環境未来都市が実施している「環境絵日記」の取り組みにも参加し、27年度も引き続き実施することとしている。今後も環境未来都市との交流を深めつつ、広く普及啓発に努めていきたい。	環境・エネルギーの分野では、学校・公共施設へのBEMS導入、電気公用車の導入に取り組んだ。また、スマート復興公営住宅のモデルとなる、一括受電や太陽熱温水設備を取り入れた上中島復興住宅が完成した。 高齢化対応・医療福祉の分野では、見守りの要となる地域包括ケア本部を設置し、また地域独自の医療ネットワークのシステム構築・周知啓発に励み、来る超高齢化時代に対応しうる見守り体制の強化を図った。 その他の取組みとしては、ラグビーワールドカップ2019の開催地として決定した。 今後も、これまで以上に各関係機関との連携を密にしながら、状況を見極めつつ構想実現に向けた取り組みを進めていきたい。
指標02	地域内発電量のうち再生可能エネルギーの割合(%)		
指標03	スマートコミュニティモデル構築数		
指標04	OKはまゆりネット加入施設の割合(%)		
指標05	65歳以上の就業者の割合(%)		
指標06	認知症サポーター養成数(人)		
指標07	釜石市への移住世帯数(世帯)		
指標08	週1回以上スポーツを行った人の割合(%)		
指標09	釜石市来訪者数(観光客入込数)(万人)		
			<p>委員からの取組全体に関する評価</p> <p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">別紙参照</p>

委員からのコメント【釜石市】

- よくがんばっている。
- 5年後の目標値の実現可能性について、再検討が必要ではないか。
- 地域包括ケアのICT、連携体制は評価できる。プロジェクトマネージャーについて設置の必要性から再検討してはどうか。
- スマート化に対しては新エネルギー導入促進協議会に連絡し、情報を把握するつもり。
- 種々の取組を継続的に進めているが、5年後の目標に対して大規模風力発電への期待と依存度があまりに高すぎるのではないか。
- 産業創出の方向性・促進方法についての構想がほしい。
- 高齢化対応ではソフト中心に充実が見られた。環境面では個々のプロジェクトで進展は見られるものの、「未来都市構想」としての統一性が弱くみえる。また、総じて経済性のFSは弱い。
- 2年目からの進捗が数値上あまり見られておらず残念。原因分析と対策について、より綿密な検討が必要と思う。
- スマートコミュニティ事業とメガソーラーや洋上風力など地域で自律化するエネルギーの取組や産業系との連携などが実現していないことは残念です。エネルギー系、スマコミについては丁寧に評価いただいてもよいと思います。
- ネットワーク参加が行われているのに、なぜ介護だけが進まないのかが疑問である（予算が原因なのか、人員が原因なのか）。憂慮すべきは、市にない技術（スキル）が必要な取組が停滞していることである。いかにして外の知識・技術を組み込むのかが重要である。
- スマートコミュニティモデル（指標03）への自己評価が低いのではないか。世界文化遺産、ラグビーWカップなどフィールドミュージアムとしてはコンテンツが大きいので有機的連携を意識されたい。

環境未来都市 PDCAサイクルを回すための取組執行体制に係わる自己チェックリスト

作成日：平成27年5月29日
 作成者（部署／氏名）：釜石市リーディング事業推進室／笹岡 佳代
 承認者（部署／氏名）：釜石市リーディング事業推進室／平松 福壽

確認事項	チェック項目	確認根拠	確認	是正処置
①環境未来都市計画及び目標の策定	環境未来都市計画の各取組に中長期(5年後)および単年度(1年後)の目標が設定されている。	環境未来都市計画書	✓	
	全ての目標値は定量的に評価できる。定量的に評価できない目標値は、その進捗を計測する代替手段がある。	取組個票	✓	
	全ての取組においては責任者が定められており、明文化されている。		✓	
②実施体制の構築	構成員間の役割分担・責任分担が明文化された体制図が作成されている。		✓	
	部局間、事業間の連携を図るために仕組みづくり(会議運営等、各都市で具体的な内容を明記)が検討されており、かつ実行されている。		✓	
③都市間連携・ネットワークの有効活用	北九州市とスマコミに関して連携をしている、もしくは今後連携を予定している。		✓	
	成功事例を他へ展開するために視察の受入を構築している、もしくは今後構築を予定している。		✓	
④関係者の参画	全体計画の立案から、その実行、見直しの全てのフェーズにおいて関係者が参画している。		✓	
	環境未来都市計画において各取組に参画が必要な関係者が特定されており、明文化されている。		✓	
⑤関連文書の記録・作成	文書の作成者、承認者が決まっている。また文書・記録の管理を実施する責任者が決まっており、明文化されている。		✓	
	作成された文書・記録の保管場所・保管期間が決まっており、関係者に周知徹底されている。		✓	
	ウェブサイト等のICTを活用した情報開示を行っている。		✓	
⑥取組状況の定期的な確認並びに問題の是正および予防	計画の中で、定期的(1回/年)に「取組評価」の自主評価が明文化され、かつ実行している。	環境未来都市計画書	✓	
	定期的(1回/年)な自主評価の結果、目標の達成が難しいと判断された取組に対しては確実に是正処置を施すよう、その確認をする責任者が決められている。		✓	
	計画の中で、毎年PDCAサイクルを回すための取組執行体制に係わる自己チェックリストの自主評価が明文化され、かつ実行している。		✓	
⑦代表者による全体の評価と見直し	代表者による全体評価のプロセスが構築され、かつ実行している。		✓	
	代表者による全体評価において評価すべき項目が決められている		✓	
	前回の代表者による全体評価での指示事項は全て実行されている。		✓	
⑧その他	代表者による全体評価のプロセスが構築され、かつ実行している。		✓	

是正処置への対応の詳細

代表者による確認

推進委員会による確認
特にご意見なし